

# デグーが家にやってきたら…

かわいいデグーがあなたにやってきたら、早くふれあい可愛がってあげたくなることでしょう。でも、デグーは初めての場所、初めての人人に会って緊張状態です。あなたにを迎えるしたら、しばらくはそっと見守りながら、環境が安全であることをゆっくりと確認させてあげて下さい。環境に慣れ始めて、スキンシップを強要し過ぎないようにして下さい。初めは優しく声をかけながら好物などを手渡しするなどして、少しづつ触れ合う時間を増やしていくようにしましょう。

しつけと称して、叩いたり、罰を与えないで下さい。デグーは「叱るしつけ」には向かない生き物です。体が小さく、人間が与える強い衝撃は体に影響が大きすぎ、罰を与えることで人を嫌う性格になる恐れがあります。あなたでのルールは叱って教えるのではなく、興味を示さないように、はじめから取り除いておいたり、興味を違う物に向けるようにするなどして対応していくようにしましょう。



## デグーと接する時の注意



### むやみにデグーを驚かせない

デグーの近くで、いきなり大声や大きな物音を立てたり、追い回したり、突然つかんだりしないようにして下さい。ゆっくり寝っている時は、邪魔をしないようにして下さい。

また、特徴的な耳や、よく動く尻尾は、大切な感覚器官です。  
傷つきやすいので、つかんだり、引っ張ったりは絶対にしないようにして下さい。



### 触ったりお世話をする前後に手を洗う

デグーは一緒に暮らしていても、人間とは違う生き物です。  
いくら仲良しでも、人から病気の原因をもらってしまったり、お世話する人や周りの人に影響を与える場合があります。デグーの環境は不衛生にならないように気を付け、触れる前後に手洗いを忘れないようにしましょう。



### 事故に注意する

デグーの行動範囲に、危険なものや場所が無いか注意して下さい。  
害となる植物やコンセントや電源プラグなどは、ガードしておくか撤去して、イタズラできないように工夫して下さい。  
脱走してしまう場合を考え、出入り口にナスカンなどをはめておいたり、思わず隙間に入り込まないようにガードしておくなど、事故にあわない様に注意しましょう。

### ●たいせつなお願い●

-- デグーは生きています --

デグーを飼うときはその命が終わるまで、飼い主としての責任と愛情をもって飼育して下さい。  
全てのデグーが、常に健康で人間の思い通りになるわけではありません。飼い主のわがままから途中で見放したり、世話を怠らないようにしましょう。その為にも飼育する生き物の生態について飼い主がよく理解をしておくことが、とても大切です。  
飼育用品は数多く販売されていますが、全てをカバー出来る物ではありません。生き物は予測不可能な行動をすることがあります。  
その用品が自分が飼育しているデグーに合っているか見極め、事故が起こる前に応じてあげるのも飼い主の責任です。  
飼育書や図鑑などで自身の知識を深めることや、主治医を見つけておくことも必要です。



株式会社 三晃商会  
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54  
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com

4 976285 341809



# あつまれ! デグー!!

手先が器用で、ちょっぴり寂しがりや。  
コロコロした体からは想像できないほど活発で、色々な鳴き声を使い分けるデグーは、感情表現が豊かな生き物です。  
かわいいデグーとの生活を始めるために、必要な事柄を考えて行きましょう!



愛嬌たっぷりでスキンシップが大好き!  
不思議なデグーの生活や生態をよく考え、  
彼らが快適に過ごせる環境で大切に接する  
ほど、人にも良く慣れて、ユニークな姿を  
たくさん見せてくれることでしょう。

SANKO

<http://www.sanko-wild.com/>

# デグーとは？



デグーは、テンジクネズミ亞目デグー科に属する生き物で、野生では南米チリのアンデス山脈(標高1200mあたり)の灌木や低木の生える乾燥した場所で巣穴を作つて過ごし、長い尻尾で上手にバランスを取り、身軽に岩場や枝木の間を移動することができます。飼育下での寿命は5~7年位。集団で居る事を好み、多彩な鳴き声で仲間との交流を取る事から「アンデスの歌うネズミ」とも呼ばれます。人に慣れると、好物を手から取つたり撫でたりする事もできるようになります。個体の相性によって多頭※で飼うことも可能ですが。

※  
複数同居での飼育も可能ですが、オス同士はケンカをする場合があります。多頭飼いではメス同士や雌雄のカップルなどで同居がしやすいでしょう。しかし、カップルでの飼育は出産により増えますので、安易に増やさない注意と配慮が必要です。どんな場合でも、個体の相性がありケンカになる場合もありますので、接する様子を観察し慣らしてからにして下さい。

## デグーの住まい

デグーは大人と子供では、注意する点が変わってきます。ベビーから飼育する場合、体の大きさに合わせた飼育用品の準備や、保温に気をつけるようにして下さい。



飼育容器は静かで風通しが良い、直射日光の当らない場所に置きます。暑すぎない・寒すぎない快適な場所で飼育するようにしましょう。暖房の熱やエアコンの風が直接当る場所に置かないようにします。

### 食器

いつでも新鮮な水が飲めるように給水ボトルを用意します。食器はかじられにくく、重量感のある陶器製が良いでしょう。水や食事は、毎日新鮮な物に取り替えてあげます。



### 飼育容器

デグーはとても活発に動き回ります。大人のデグーをケージで飼育する場合、用品を設置しても、十分な広さと高さがあり、網の目が細かい物を選びます。扉がしっかりと閉まる物がよいでしょう。扉には念のため、ナスカンなどをつけてロックしておくと安心です。

### ステージ

立体的に跳び回るデグーのために、ケージの高さが十分に利用できる足場を作ります。木製のステージや天然素材のバーチはかじっても安心。巣箱への道や休憩場所に。過ごしやすいようにレイアウトを考えてあげましょう。

### ハウス

安心して休める巣箱を用意します。かじる事が大好きなので、巣箱等の用品は消耗品と考え、かじっても安心な素材で作られた物を入れると良いでしょう。



### ホイール

運動不足を補う為に、ホイールを用意しても良いでしょう。体のサイズを考え、ゆったりとした大きさの物を選びます。



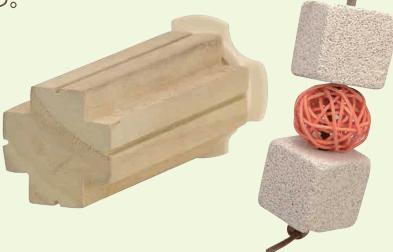
## 砂浴び

デグーは、砂浴びが大好き。体の汚れを落とし皮膚の健康を保つだけでなく、ストレス解消や仲間の確認や自分の匂いを身に付ける為に毎日の砂浴びは欠かせないものです。丈夫で倒れにくい容器に砂浴び用の砂を入れて置きます。浴び砂は定期的に交換してあげましょう。



## かじり木

伸び続ける歯の状態を維持したり、遊びやストレス解消のために、いろいろな物をかじります。安心してかじられる、木切れ等を与えてあげましょう。



## デグーの食事

完全な草食性の生き物で、食事は牧草と専用ペレットを中心的に与えます。デグーの食事の内容での注意点として、糖の代謝が弱いと言う事があります。糖分が多く含まれる物や高カロリーの食品を与える事は極力控えるようにして下さい。

### ペレット

デグーの専用フードは、必要な栄養を手軽に与えることが出来ます。専用フードには、ほかの草食動物のペレットでは足りない栄養も含まれています。入手が困難な場合、ビタミンCが添加されているモルモットの専用フードが代用として使用できます。フードの保存は乾燥状態が保てるよう出来るだけ密閉し、早めに使い切れる量を用意するように心がけて下さい。

### 牧草

草食動物であるデグーにとって、牧草は大事な食事の1つです。繊維が豊富なので何度も噛む事で伸び続ける歯を削り、消化する過程で腸の状態を整える効果もあります。いつでも食べられるように、ケージに入れておきましょう。アルファルファ牧草は栄養価が高いので、ベビー や成長期のデグーに向いています。チモシー牧草は、すべてのデグニに最適な牧草です。



### 副食

補助的に野菜や果物等を与える時は、デグーが安全に食用できる種類を選ぶようにして下さい。一般的に市販の野菜や果物は人間が食用にしやすいように品種改良され、糖分や水分が過剰に含まれているものがたくさんあり、与える種類や量には注意が必要です。

※種子類や乾燥フルーツ等は大好きなる食べ物ですが、デグーは糧分の代謝が苦手な生物です。与える時は毎日少量にし、与えすぎないようにして下さい。



### サプリメント

体調が気になる時などに、乳酸菌やビタミンC等色々な効果が期待できるサプリメントがあります。しかし、サプリメントそのものばかり食事にはなりません。基本食のフードや牧草を適正量を与えた上で、補助的に利用するようにして下さい。



## デグーに食べさせてはいけないもの

専用フードや牧草以外のものを与える時はデグーが食べても良い物か、文献などで調べてから与える様にして下さい。デグーが食べてはいけないものは人間の生活のまわりに、たくさんあるという事を知り、安全性が判断できないものは与えないで下さい。また、人間用に加工されている食べものは、デグーに与えないようにして下さい。「ちょっとだけなら・・・」そのちょっとはデグーにとって、とても危険です。

人間が食べられても、デグーに毒性がある食べ物がとても多いことを知って下さい。食べ物のだけでなく、観葉植物や家の草花の中にも、食べてしまうと危険な物があります。デグーはそれが食べても良いものかどうか自分で判断する事はできません。